

2017年度事業活動方針案、計画案

(1) 地域コミュニティ事業

1. 生活クラブ生協福祉事業運営

(利用人数 1,600人 2,500食 親子のひろば 350組、一時託児 50時間 教室参加者 1,050組 利用者総数 3,200人)

- ・生活クラブの事業であるみんなの居場所「わ〜くわっく北本」の運営主体として生活クラブと協議を重ねながら運営します。
- ・生活クラブの福祉政策により委託の終了を見据え、2018年度からの居場所事業を独自事業としても持続可能にするための方策を探る1年とします。
- ・8年間事業として蓄積してきた居場所の機能を再認識し、地域とのネットワークを強め、思いを共有することでさらなる事業継続を目指します。

2. 居場所関連事業

- ・生活クラブから居場所内棚を貸借し、手作り品の販売を行います。
- ・また利用者の手作り品等の委託販売を棚のスペースを提供します。
- ・手作り品を介した人と人とのつながり作りを行います。

3. きたもとこども食堂運営

利用人数 520人 開催回数 13回

- ・地域のボランティアの人たちと、子どもも大人も安心して食事のできる環境作りを行います。
- ・地域とのつながりを大切に、より多くの人にみんなの居場所を知ってもらうきっかけ作りを行います。
- ・見学に対応し、広報に努めます。

(2) 地域生活サポート事業

お互いさまのたすけあいの気持ちで、ご利用者がその人らしく地域生活を続けることを目的とし、ご利用者の立場に立った、制度ではできないサービスを提供します。

生活さぽーと事業

サービス提供時間 450時間

- ・ご利用者のニーズや障害特性に合わせて、他の機関と連携しサービスを提供します。
- ・家事支援のみならず、ご利用者の楽しみを届けるサービスを提供します。
- ・ご利用者の状況を共有し、その時々に応じたサービスの提供を目指します。
- ・スキルアップのための研修を実施します。

- ・ てとてが目指すサービスを、地域に必要な事業所として認知されるよう、信頼されるサービスを目指します。

(3) 福祉ネットワーク作り事業

てとてが地域において非営利で活動することは、安心して住み続けることのできるまちづくりに関わるということであり、求められる多様な活動を行うことで、てとて自身の発展につながります。

① たすけあいを目的とした地域ネットワーク作り事業

- ・ 生活クラブたすけあいのシステムであるエッコロの熊谷ブロックコーディネートとケアシステムをCCS(NPO 法人コミュニティケアクラブ埼玉)から、また生活クラブの共済「ハグくみ」のサービス提供を生活クラブ生協から受託し、たすけあいの仕組み作りに参画します。
- ・ エッコロで組合員同士のたすけあいが成立しない場合に、ケアシステムのサービス提供地域(北本市・桶川市・旧鴻巣市・菖蒲町)で、てとてのサービス提供を行います。
- ・ CCSの運営委員を選出し、CCSの運営に参加します。

② 北本生活館管理受託事業

- ・ 北本生活館管理業務および防火管理業務を生活クラブ生協より受託者として業務を行います。
- ・ 利用者が北本生活館を有効に利用できるように管理業務を行います。
- ・ 組合員の地域とのつながり作りを支援します。

③ 講師派遣事業

- ・ 他団体等からの依頼に応え、ワーカーズ作り・子育て支援・地域福祉などの講師を派遣します。
- ・ 居場所の見学に対応します。

④ 埼玉ワーカーズコレクティブ連合会の活動

- ・ 福祉部会・食部会・エリア会議に参加し、ワーカーズ運動の促進、ワーカーズコレクティブ間の情報共有・連携に努め、私たち自身がともに成長するための活動に参加します。

⑤ その他の活動

- ・ 北本生活館協議会に参加し、生活クラブ組合員とともに、北本生活館の賑わいを生むため生活館まつりに参加します。

- ・ 生活館を利用する組合員・支部と連携し、活動を行います。

(4) 福祉有償運送事業

移動サービス 250 回

- ・ 多様なご利用者のニーズと信頼に応え、安全を第一に行います。
- ・ ご利用者の安全な移送に関しての内部研修を実施します。
- ・ 今年度、福祉有償運送の登録更新を行います。

(5) 埼玉県障害児(者)生活サポート事業

サービス提供 420 時間

- ・ 多様化するご利用者の障害特性を理解し、支援センター、その他専門職などと連携をとりながら、ご利用者のニーズに応え、信頼されるサービスを提供します。
- ・ 利用できる範囲を正確に把握し、適切なサービス提供を行います。